

平成20年11月5日

各位

財団法人親和銀行ふるさと振興基金
平成20年度助成先決定と贈呈式のお知らせ

親和銀行(本店:佐世保市 頭取:鬼木 和夫)が平成元年に創立50周年を記念して創設した財団法人親和銀行ふるさと振興基金(理事長:鬼木 和夫)では、地域社会への貢献活動の一環として、地域の産業、文化を支援するために、長崎県内の優れた町おこし活動、県産品の開発、学校教育活動、学術研究活動などに助成を行っています。

今般、平成20年度の助成事業として13先に総額4,420千円の助成金贈呈が決定しましたのでお知らせします。(助成額累計322件、109,902千円)

つきましては、下記のとおり贈呈式を行いますので併せてお知らせします。

記

1. 受賞団体

(単位:千円)

部門	助成先	助成額	推薦店
地域振興	コーラスグループ「のばら会」	300	宇久支店
	祝詞神社大祭「大野おくんち」	300	大野支店
	長崎居留地まつり実行委員会	400	大浦出張所
	御厨蛇踊り保存会	220	御厨支店
	中津良川ほたる保存会	300	平戸支店
	島原子ども狂言協力会	300	島原支店
	西海市ポルトガル友好倶楽部	300	大瀬戸支店
	7件	2,120	
学校教育	川棚町立川棚中学校 吹奏楽部	500	川棚支店
	長崎県立佐世保南高等学校 男子バレーボール部	300	日宇支店
	波佐見町立波佐見中学校 吹奏楽部	500	波佐見支店
	長崎市立野母小学校 野母小スイングキッズ	400	野母支店
	4件	1,700	

産品開発	時津巨峰ワイン研究会	300	時津支店
	1件	300	
学術研究	随筆クラブ「はまゆう」	300	宮田町支店
	1件	300	
計	13件	4,420	

助成先概要については別紙、受賞団体一覧をご参照ください。

2. 贈呈式概要

(1) 日時 平成20年11月12日(水)
午前11時より1時間程度

(2) 場所 富士国際ホテル2階ホール
(佐世保市常盤町8-8)

(3) 式次第

開式の辞
理事長挨拶
表彰状、助成金贈呈
受賞団体挨拶(代表2団体による自己紹介、披露等)
閉式の辞
(記念写真撮影)

以上

本件に関するお問い合わせ
 (株)親和銀行 総務広報部 広報グループ 鈴木
 TEL . 0956 - 23 - 3606

平成20年度 受賞団体一覧

<地域振興部門>

(1) コーラスグループ「のばら会」(佐世保市宇久町)

昭和47年4月、「過疎の島をコーラスで明るくしよう」と愛好者20数名の混声合唱団として発足。美しいハーモニーで島民の心をなごませている。生の音楽に接する機会の少ない島民のために活動、地域文化作りの中核的存在にもなっている。

(2) 祝詞神社大祭「大野おくんち」(佐世保市田原町)

大野地区の産土神で祝詞神社は千年の長い歴史を持つ神社である。神社大祭が始まったのは3百年前に遡るが昭和52年、現在の宮司である山口正人氏がこの大祭を八幡神社並みの賑わいにしようと「大野おくんち」としてスタートさせた。現在では毎年、開催日の2日間で1万人をこえる人出で佐世保市北部最大のイベントとなり地域の文化的行事として広く浸透している。

(3) 長崎居留地まつり実行委員会(長崎市桜町)

長崎の東山手、南山手、大浦地区に残る外国人居留地の歴史的文化遺産を生かすため、平成13年に市民と行政が一体となって設立された。目的は住民の町並みの保存に対する認識や地域への愛着、関心を高め、地域文化を活性化させること、又、地域の魅力を広く発信し、地域内外との交流を活発化させ、地域振興に寄与することにある。今年で居留地まつりは14年目を迎え多彩なイベントを行う長崎市のお祭りとして定着している。

(4) 御厨蛇踊り保存会(松浦市御厨町)

御厨蛇踊りは町内唯一の郷土芸能であり、昭和52年4月に保存会が発足された。保存会の活動人員は御厨町在住者および御厨町内の小中学生で構成され、地域行事の「御厨お宮日」、「松浦水軍まつり」等の奉納や松浦市のイベント、PTA行事などに参加、長年にわたり地域に密着した活動を行っている。

(5) 中津良川ほたる保存会(平戸市)

平成14年に文部科学省から地域体験活動の指定を受け中津良川のホタルの生息環境改善のため川の清掃、除草活動、水質改善のためのEM菌団子(無害、米ぬか、赤土等から作成)の投入を地域の児童と連携し継続して行ってきた。その結果、ホタルの生息数増加が実現し、平成16年頃からこのホタルを活用した「ホタル祭り」が開始された。年々、祭りや活動の実績から知名度が向上、県による河川管理道路の舗装化(建設廃材、焼却灰を利用したエコ資材使用の道路)も実現した。現在では県北地区で有数のホタルの名所となっている。

(6) 島原子ども狂言協力会(島原市手原町)

昔から能楽が盛んだった城下町ならではの歴史を、能と共に親しまれていた「狂言」を体験しながら学び、地域の文化への認識を深め次世代の子ども達へ伝承していくことを目的に平成15年に設立、活動が始められた。伝統文化の継承として幼年期から「狂言」に触れさせることと子ども教育も兼ねた育成活動を行っている。

(7) 西海市ポルトガル友好倶楽部

平成 20 年秋のカトリック教列福式で日本殉教者 1 8 8 人が福者(聖者に準ずる者と言う意味) となるが西海市中浦地区が生誕地である中浦ジュリアンもその 1 人となる。西海市はこれを記念事業として計画、現在ある観光施設と合わせ、観光の拠点として地域振興に役立て当市の文化行政事業としてアピールしていく。事業として「世界史から考えるキリシタンの世紀、中浦ジュリアンの生きた時代」の記念論集の発行、「中浦ジュリアン出生の地」案内板改修、「八ノ子島十字架再建」等が計画されている。

< 学校教育部門 >

(1) 川棚町立川棚中学校 吹奏楽部 (東彼杵郡川棚町)

同校の吹奏楽部は、昭和 3 9 年、子供達の健全育成、感謝の心、礼儀などを音楽を通して育てていこうとの趣旨で設立された。以降 4 6 年間、地域行事に積極的に参加し、昨年は年間 1 5 回の参加公演をしている。「常に音楽の流れる明るい学舎」、と言う校風が根付き地域の人々に親しまれている。

(2) 長崎県立佐世保南高等学校 男子バレーボール部 (佐世保市日宇町)

県立の進学校でありながら、文武両道の教育を実践。男子バレーボール部は近年、県の高校総体のみならず、九州大会、全国インターハイ、全国春の高校バレー (平成 1 5 年には優勝) でも優秀な成績を収め、学校内だけでなく、地域住民にも「元気と話題」を与えている。

(3) 波佐見町立波佐見中学校 吹奏楽部 (東彼杵郡波佐見町)

同校の吹奏楽部は「すべてはひとりのために、ひとはすべてのために」と言う心を大切にして、楽器の演奏に必要な技術力、表現力を日々磨いている。例年行っている定期演奏会や演奏活動では地域の音楽文化の向上に寄与し、昨年度は県吹奏楽コンクール、県アンサンブルコンテスト、九州アンサンブルコンテストでは金賞を受賞した。

(4) 長崎市立野母小学校 野母小スイングキッズ (長崎市野母町)

昭和 4 0 年代に子供達の健全育成、礼儀など音楽を通じて育てていこうとの主旨で設立され、打楽器を中心に活動を開始した。平成にはいってからは金管楽器も導入され、学校行事の他、地域の交通パレードなどで先頭に立って演奏を披露するなど地域行事に積極的に参加している。平成 5 年には旧野母崎町より少年善行者表彰を受けている。

< 産品開発部門 >

時津巨峰ワイン研究会（西彼杵郡時津町）

時津町は巨峰の生産量で県下一を誇る。この特産品を原料としてワインの研究に力を入れ、時津町の「特産品」としての販売し、町おこしを推進することを目的として設立された。巨峰のワイン化には売れ筋ではない小粒のものが適していることからこれを利用、これまでに商品化も実現、評判も上々である。
現在も更なる良質のワイン製造のため研究を重ねている。

< 学術研究 >

随筆クラブ「はまゆう」（佐世保市山祇町）

同クラブは昭和43年秋に設立し、昭和47年に随筆集「はまゆう」第1号を発刊。現在は会員33名、年3回の発刊を行っており平成20年4月で101号の発刊となった。県内において、本誌ほど活発な活動を行っている随筆クラブはなく、地域文化の振興の一翼を担っている。

以上